

モデル日本語教室の実施状況とその効果に関する報告書

1 モデル日本語教室の概要 < 磐田市 >

名 称	2020 年度 磐田市はじめての日本語教室			
目 標	初期の日本語レベルの外国人市民が生活に必要な最低限の日本語を身につけられること及びその過程に支援者として地域の日本人市民が関わる事による、地域における多文化共生社会の形成を促進すること。			
実 施 日	令和2年10月25日 ～ 令和3年2月14日			
実 施 回 数	全 12 回 （ 1回 1.5～2 時間 ）			
受 講 者 数	延べ 36 人（ポルトガル語34人、フィリピン語1人、ベトナム語1人） [開講前の見込み20人]			
	10 回出席2人、7回出席1人、6回出席1人、5回出席1人、3回出席3人 2回出席10人、1回出席18人			
実 施 場 所 (住 所)	磐田市南御厨交流センター（磐田市東新屋613）			
受講者募集方法	・チラシ配布 訳100枚 （ ポルトガル語70枚、フィリピン語30枚 ） ・SNS （ Facebook ）により発信			
教 室 内 容	日本語指導者・補助者	3 人（内 資格有り 3人）		
	学習支援者	16 人	ボランティア講座受講者	人
			協会日本語ボランティア	3人
			南御厨地域づくり協議会	12人
			その他（コーディネーター）	1人
	テスター	5人（内 学習支援者と兼務 2人 指導・指導補助者と兼務3人）		
	母語支援員	3人（ポルトガル語2人、フィリピン語1人）		
	特別な講師等	無		
	各回の教室活動	別添 活動計画表、活動進行表のとおり		
備 考	全12回の内、第1・2・3・9回は対面教室のみ、第4・5・6・8・10回はオンライン併用型で開催。第11・12回はコロナ感染を考慮しオンライン教室のみで開催			

2 効果等（モデル教室前後の変化など）

【学習者】

項 目	教 室 参 加 前	教 室 参 加 後
日 本 語 能 力	レベル0 8人 レベル1 14人 レベル2 5人（不明9人）	レベル0 8人 レベル1 13人 レベル2 6人（不明9人）
日本語の学習意欲	・日本語を覚えたい ・生活情報がわかるよう ・仕事のため	・日本人と交流したい
日本あるいは居住地域への興味・関心	・ある	・ある
教室への期待感	・特になし	
教室への満足度		・日本語を学ぶのに充実した支援を受けた。 ・ボランティアの人ととても楽しく話せた。
その他特筆すべきこと ()		

※ 最終日以降に、学習者への聞き取り又はアンケートを実施し把握。

【指導者】

項 目	自 己 採 点 ・ 課 題 など
学習者の日本語能力の向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
学習者の日本語学習に対する意欲向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
多文化共生の拠点として機能したか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
改善すべき点	・指導者と支援者、通訳の事前打ち合わせと反省がもう少しできるとよかった。 ・初級の学習者への対応は指導経験者でも難しいため、支援者、指導者ともに事前準備の必要性を感じる。 ・地域支援者、母語支援者なども含め、事前に打合せ（研修会）を実施したい。
その他特筆すべきこと ()	・地域の方が支援者として参加したこと。 ・多くの外国人の方が、教室に参加したいという意欲を示したこと。

※ 点数部分は、最終日以降にアンケートにより把握し、その回収結果の平均値を記載。

【学習支援者ほか】

項 目	感 想 ・ 課 題 など
学習者の日本語能力の向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
学習者の日本語学習に対する意欲向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
多文化共生の拠点として機能したか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・市事業と国際交流協会事業のすみわけ（対象者等） ・支援者のレベル向上、継続参加してもらえるような取組み ・今後の他地域での「はじめて」の知見共有、教室の宣伝
その他特筆すべきこと（ ）	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業により日本語の基礎を学習した人たちの受け皿となるボランティアが必要。学習が継続されないとまた元のレベルに戻ってしまう。

※ 点数部分は、最終日以降にアンケートにより把握し、その回収結果の平均値を記載。

【受託者（磐田市）】

項 目	感 想 ・ 課 題 など
学習者の日本語能力の向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
学習者の日本語学習に対する意欲向上効果はあったか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
多文化共生の拠点として機能したか	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
改善すべき点	<p>学習者の継続率が低く、日本語の能力の向上効果があったか不明となった。 磐田国際交流協会教室と開催日が重複している事があり、学習者を困惑させてしまうことがあった。</p>
その他特筆すべきこと（ ）	

※ 点数部分は、最終日以降にアンケートにより把握し、その回収結果の平均値を記載。